

# ANIC info



Association for  
Nakano  
International  
Communications

中野区国際交流協会

2021  
March

オンラインで世界とつながる！  
なかの国際交流フェスタ

中学生日本語集中教室

なべよこ・さぎのみや共催で地域国際交流カフェ

80時間、あなたの学校で日本語指導

子ども日本語クラス

zoomで日本語講座試行中！？

zoomで世界旅行へ行ってきました！



# 第4回なかの国際交流フェスタ

～zoom オンラインで、世界とつながりました！～

3月6日(土)、初めてオンライン開催しました。新型コロナウイルスの影響により外国との往来が難しい状況が続いていますが、オンラインで中野と世界5カ国をつなぎ、参加者のみなさんに現地からのレポートを楽しんでいただきました。コロナをきっかけに、遠く離れているボランティアたちと再びつながり、世界の距離が一気に縮まった1日でした。

## アメリカ シアトル



Utako さん

金曜ボランティア (2013年～)



### スペースニードル

ワシントン州シアトルの中心にありシンボリックな存在。宇宙に届く針をイメージしている。高さ184m。タワー上部にある展望台は床がガラス張りになっていて、360度回転している。Amazonの本社、Microsoft本社などのIT産業、ボーイングなどの航空産業が盛んで、スペースニードルの周辺の2/3のビルがAmazonの関連ビルだそう。Amazonが有名になる前は、あまり高いビルがなかったとも言われている。

### Amazon 本社

「Spheres」と呼ばれ、3年ほど前に出来た。全面ガラス張りで球体をしていて、中は植物園や水槽があり、コーヒーやドーナツも販売されているが、関係者しか入ることはできないらしい。会議室やワーキングスペースもある。



### スターバックス1号店

PIKE PLACE MARKET (築地市場のようなところ) にあり、いつも観光客でにぎわっている。店内は狭く、席はない。いつも15分～20分待ちだが、接客スキルは世界一！と言われており、いつでもスマイルでお客さんに話しかけてくれるそう。



## ニュージーランド クライストチャーチ



ケレブさん

中野・ウェリントン友好子ども  
交流協力者 (2016年)



### マウントクック / アオラキでスカイダイビング!

世界遺産にも登録されている神聖な山。氷河ツアーやスカイダイビングが楽しめる。インストラクターと一緒に、約4500m上空から雪山と氷河の大自然を満喫できる。ガイドをしていたケレブさんのおすすめスポット。

### クライスチャーチビッグバンドフェスティバル

毎年10月に数日間にあわたり行われるお祭りで、街がジャズの雰囲気包まれる。各所で、ジャズの生演奏やダンスイベントが行われる。ケレブさんも、毎年お友達と楽しんでいるそう。



### 新型コロナウイルス接触確認アプリ

3月6日現在、レベル2で、100人以上の集会が禁止されている。ニュージーランドでは、アプリで、行動記録をつけることになっている。アプリへの記録は自分たちの安全のために必要なことだと思っている。



## ペルー クスコ



庄司さん

金曜ボランティア (2010 年～)

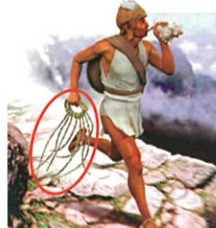


### 天竺ネズミ

食用の大きいネズミ。山岳地帯では貴重なたんぱく源。味は豚よりは鳥に近いが、食べていると少し臭いがきつく感じる。

### インカ帝国の Chaski (チャスキ)

クスコにはインカ帝国の遺跡が数多く残っている。優れた科学技術と強い戦闘能力を使って周りの国々を支配した。また、アンデスの山中に道路網を整備し、Tambo という駅を造った。その道を使って、Chaski と呼ばれた飛脚が活躍した。Chaski が持っている縄のようなものは、インカの情報伝達ツールで、現在でいえば USB のようなもの。インカは文字を持たず、この縄の結び目の位置、形で情報伝達をしたといわれるがその意味は解釈されていない。



### 石垣の謎

インカには、巨大な石垣があり、きわめて固い花崗岩がまるで豆腐のように切られて加工されている。どうやってやったのか、ところどころに突起があるがその用途も不明。石垣を組み合わせているので、たびたび起こる地震にも耐えてきた。大きな地震の時もスペイン風の家が倒れても、インカの建物は残った。



## 韓国 仁川 (インチョン)



キムさん

金曜ボランティア (2012 年～)



### ジャージャー麵博物館

仁川には韓国最大のチャイナタウンがあり、韓国人がよく食べるジャージャー麵もここが発祥。またチャイナタウンは、屋台も多く食べ歩きも楽しめる。



### プジョン地下商店街

国際空港のある仁川にある世界最大規模の地下街。明洞に行かなくても、最新のファッションスタイルを見て、買い物ができます。

### 新型コロナウイルス感染者の移動経路を知らせるアプリ

国民の行動履歴を取るために QR コードシステムを開発した。店や施設の入り口で、自分の情報が入った QR コードを登録する。感染者が出たときは、個人が立ち寄った場所を閉鎖して防疫処置をし、感染拡大を防いでいる。



## ベトナム ホーチミン



マイさん

ホーチミン市師範大学  
日本語学部専任講師



### バイクは「HONDA」

人々はとても親日的で日本の製品が大好き、バイクのことは「ホンダ」と呼んでいる。品質の良い日本製品が生活の中に入り、日本に憧れ日本語学習者も増えているそう。



### 南部の大都市ホーチミン

南北に細長いベトナムは北と南では気候が全く違い、そこに住む人々の気質も北の人は勤勉で我慢強くチームワークが得意、南の人はオープンで明るい性格、楽観的で親切。北部は南部に比べて農作物が安定して収穫できないため、日本で働こうとする若者も多く、一方で南部は自然が豊かで作物がよく育ち、商売も盛ん。

### ベトナムの若者たち

日系企業のベトナム進出の増加に伴い、日本語ができると、就職の機会が広がるため、日本語学習者が益々増えてくる。また、技能実習生として日本へ行く若者たちは、2,3 年お金を稼いだあと国に戻って商売を始め、今よりも安定した豊かな生活をしたいと考えている人が多い。

## 中学生日本語集中教室

毎週水曜日・金曜日の午前中、区立中学校に通う日本語学習が必要な生徒たちが日本語を学んでいます。日本語教育能力検定試験等の資格を持ち、ANICの日本語指導員養成講座を受講した指導員が、生徒たちを指導しています。それぞれの学校長の許可を得て、毎週計6時間学び、教科学習につながる基本的な日本語の習得を行っています。学習進度は、本人のペースで進みます。非漢字圏か漢字圏かの違いなどもあり、半年程度で学校に戻る生徒もいれば、数年通う生徒もいます。

今年度は、8校から18人の生徒たちが通ってきていました。中国、ネパール、アメリカのほか日本ルーツの生徒もいます。



今、最も多いのがネパールから来日した生徒たち。新型コロナウイルスの影響を受け、住む地域によってはANICまでの交通費が保護



者の負担となっていました。通級できない生徒が出てくるかもしれないと心配しましたが、そんなとき「三菱財団×中央共同募金会 外国にルーツがある人々への支援活動応援助成事業」の助成を受けられることになり、生徒たちが継続して学ぶことができるようになりました。三菱財団×中央共同募金会の皆様には、本事業へのご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

教科書「こどものにほんご」は全部で34課まであります。最後まで学んだ生徒には、作文を書いてみんなの前で発表してもらいます。今まで習った文法と語彙を使って精一杯日本語で気持ちを伝える姿は立派で誇らしく、後輩たちの励みになっています。

## 好きな本

中野中学校3年 ラハパール ススマ

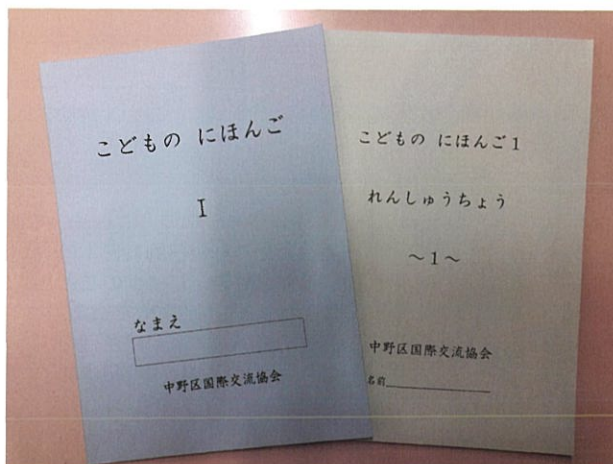
私は前ネパールにいた時、全然本を読みませんでした。でも、日本ではこどもも、老人も、若い人もどこでも本を読んでいますし、学校でも朝授業を始める前に十分本を読みます。ネパールでは皆本を読むことに興味がありませんでしたし、学校でも本を読む機会がありませんでした。

私は日本へ来て、学校へ初めて行った時、先生は学校に本を持って来るようにと言いました。その時、私は本を読むことに興味がなかったので、一冊も本を持っていませんでした。私が、先生が言ったことを父に言うと、父は私に日本語と英語の辞書をくれました。私はいつも辞書を学校にもって行って、朝と昼休みに読んでいました。家でも辞書を読みました。私は辞書でたくさん言葉を習いました。それで辞書を読むことが好きになりました。でも、私は辞書だけ勉強して、日本語が上手になりませんでした。

私が一番好きになった本は中野区国際交流協会で勉強

した本で、最高でした。本当はそれは、教科書でしたが、私にとっては一番好きな本だと思います。もしその本がなかったら、私は日本語が話せないと思います。私はその本でたくさん漢字や文の作り方を覚えて、コミュニケーションができるようになりました。

私はいつも一週間に二回国際交流協会へ行って、一生懸命に勉強しました。本は決して自分の側を離れることのない友達だと思います。この教科書は私に考える力をくれました。



## イベント / レポート

なべよこ・さぎのみや共催で  
地域国際交流カフェ

2月6日(土)、中国の張 軼之さんちょういつしが、「オナカガスイタ」と題して中国のフードデリバリー事情を話してくれました。スマートフォンと電子決済の普及によりライフスタイルが大きく変化し、フードデリバリーの利用が一気に増えたそうです。今では年間でおよそ160億食ものオーダーがあるそうです。参加者からは、スケールの大きさに驚きの声が上がりました。発表の後は、2組に分かれフリートークで楽しくおしゃべりしました。初めて参加した中国のXさんやインドネシアのWさん、日本人大学生のHさんなど若い方の話を中心にとっても和やかなzoomカフェとなりました。これからも ゆっくり たのしくにほんごでおしゃべりしましょう！

80時間、あなたの学校で  
日本語指導

ANICでは、中野区教育委員会が実施する日本語適応事業に日本語支援指導員を推薦して派遣を行っています。2020年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、年度当初は区内の小中学校も休校となっていました。6月に再開すると、徐々に日本語指導の依頼が増えてきました。外国からの入国が制限されているものの、昨年度と同程度で67件(3月5日現在)の依頼がありました。コロナ感染の不安もある中、延べ100人を超える指導員の協力により、今年度も児童・生徒が日本語を学ぶことができました。今年度から1人当たり20時間増えて80時間となり更に充実した日本語指導ができるようになっていきます。



## 子ども日本語クラス

年明けに2度目の緊急事態宣言が発令され、大人の日本語講座はお休みになりましたが、小中学校は授業が続いていたので、勉強に遅れないために、子どもの日本語クラスはいつも通りに続けていました。4月から一年生になる子どもも新学期にそなえて1月から勉強にきています。3月には雛人形を教室にかざり、日本の伝統文化も楽しんでもらいました。ボランティアの方々の協力もあって、子どもたちはコロナに負けずに頑張っています。



## zoomで日本語講座試行中!?

コロナ禍における日本語クラスの新たな取り組みとして、zoomでオンライン授業を行っています。直接対面授業が出来ない中でもオンラインを活用し、取り組むことで少しでも勉強が進み、日本語を忘れないことが目的です。問題点もあります。どこまでわかったか確認するテスト類が手元にないことやその日にならないと学習者が分からなく、ボランティアの方が教える準備が出来ないこと、ボランティアと学習者のマッチングがとても難しいこと、人数が合わないなどがあります。新たな可能性を感じることもありますが、やはり対面授業が顔の表情が良く分かり、充実感があると思います。一日も早く日本語クラスが再開してほしいです。



## 「にほんご」を学べます!

成績があがらないのは、日本語学習が不足しているからかもしれません。

以下のような子どもが対象です。

- ①来日して間もなく日本語がわからない
- ②数年前に来日したが、日本語が不十分で学力が伸びていない可能性がある
- ③日常会話はできるが、両親または親の一方が外国の方で、日本語環境が不足しているため学力が伸びていない
- ④日常会話はできるが、海外での生活が長く、日本語が十分でない
- ⑤その他…ご相談にも応じます。

### 子ども日本語クラス

日時 毎週火・木曜日 16:15 - 17:50

会場 なかのZERO西館3階

対象 日本語学習が必要な小学生・中学生

費用 登録料 2,000円 (区外 3,000円)  
教材費 900円

方法 ボランティアと1対1か少人数グループで勉強します。

申込先 中野区国際交流協会 (ANIC) で申し込みます。

### 中学生日本語集中教室

日時 毎週水・金曜日 9:50 - 11:50

会場 なかのZERO西館3階

対象 日本語学習が必要な中学生

費用 教材費 900円

方法 学校の授業のかわりに「日本語」を学びます。  
ANICの日本語指導員が指導します。

申込先 中野区国際交流協会 (ANIC) までお電話ください。

### 「やさしい(わかる) 日本語」研究グループ

APRG (ANIC Plain Japanese Research Group) は、2009 年からスタッフとボランティア数人で外国の人にわかりやすく情報提供したいという思いから、やさしい(わかる) 日本語に翻訳し、情報を伝える勉強をしています。現在は 10 人程のメンバーで ANIC のホームページや「外国人のためのなかの生活ガイドブック」など行政から区民に発信されている情報を翻訳しています。最近では外部からの依頼もあり、一緒にやさしい日本語に取り組んでいます。中野区や ANIC の活動事業に役立ち、言葉の壁が少しでも低くなるよう、「やさしい(わかる) 日本語」を一つのツールとして、地域に暮らす人々の生活を円滑にするための活動を形にしていきたいと思っています。



2017 年に ANIC の日本語講座で学んだウグウルジャンくんが、「足踏み式消毒液スタンド」を寄贈してくれました。中野工業高校(定時制課程)機械類型実習の授業の中で、溶接、塗装など約 2 か月かけて製作したそうです。ありがとうございます!

### 編集後記

コロナもかれこれ 1 年を過ぎました。ズームをはじめ、コロナ下でも工夫して活動に取り組んでいきたいと思っています。(T)

節分の豆まきはできませんでしたが、ひな人形はビニールで触れないようにして飾ることができました。(N)

戸惑いを隠しながら手探りで始めた zoom。その便利さに納得。人との繋がりが人生に彩りを与えてくれる。どんな形でも素敵なことです。(H)

zoom でのイベント、ボランティアさんの協力で大成功でした。(T)

オンラインだからこそできる「交流」もある! 苦労もありますが、つながったときの皆さんの笑顔がいいんです。(S)

